

真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成29年11月2日発行 No.9

11月のこよみ

収穫の秋

校長 武田 昌彦

めっきり朝夕の寒さが増し、秋を感じる季節から冬を思わせる季節となってきました。11月を迎え、子ども達にとっても折り返しの軌道にしっかり乗り、充実した後期となっている大事な時期となりました。

10月29日(日)は、子ども達が楽しみにしていた二大行事の一つ「学習発表会」が開催されました。当日はご来校いただき、ありがとうございました。帰り際には雨も降り始めましたがいかがでしたでしょうか。学習発表会は、学級を基盤とし、児童と教師が一体となって取り組み、一人一人が活かされ自分の役割が十分に発揮される場。そのためにも学級の和が一層大切になってくるものです。学級での取り組みを進める中でそれぞれの分担はあるものの、見えないところで黙々と準備に勤しむ子、遅れがちなところに心配りする子、自然体の中で協力し合うことの大切さや思いやりの心で接するやさしさが随所で見られました。このような良さは当日の発表での自信となり、子ども達にやり遂げることができたという満足感を与えてくれたと思っています。特に6年生は最後の学習発表会ということもあり、納得のいく内容で締めくくったのではないのでしょうか。次のステップへ大きな成長の一步を踏み出したと思います。どの学級もどの子も収穫したものが多かった一日でした。ただ、全てが思う通りにいったわけではなく、反省しなければならないこともあり、自分なりに気づいた子はさらに多くのものを収穫したと思います。保護者・地域の方など多くの方々に早朝よりご来場いただき、あたたかなご声援、拍手などほめていただいたことや、いつも見守っていただけることは大変幸せだと思います。きっと真龍小の子ども達が大人になったとき、次の世代の子ども達にもあたたかい言葉をかけ、見守って、育てていってくれることと思います。この収穫したものを今後の成長に活かし、この後の大きな変化に期待したいと思っています。

日	曜	行事
1	水	特別日課 委員会⑧
2	木	特別日課 町研11月研究大会(1雪、5月授業)
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	特別日課 午前授業 生活リズムチェック週間(~12日まで)
7	火	運動の日 朝会(講話) 二計測・視力検査(1年)
8	水	二計測・視力検査(4年)
9	木	二計測・視力検査(6年)
10	金	特別日課 クラブ⑤
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	情報館読み聞かせ 二計測・視力検査(3年)
15	水	特別日課
16	木	耳鼻科検診 二計測・視力検査(2年) 生徒指導連絡協議会講演会(講師:高昌昌之校長)
17	金	特別日課 クラブ⑥ 二計測・視力検査(5年)
18	土	
19	日	町民文化祭芸能発表
20	月	職員会議
21	火	ブクトーク4年
22	水	ブクトーク6年 グラウンド納め(予定)
23	木	勤労感謝の日
24	金	特別日課 委員会⑨ 街頭指導 作品展準備 ブクトーク3, 5年
25	土	
26	日	
27	月	作品展~12/8
28	火	参観日1~3年 保護者面談開始(~12/25)
29	水	防犯教室
30	木	参観日4~6年

野球をやっている息子とのある日の会話

- 父 おまえにとって試合を楽しむってどういうことだ
- 息子 納得した試合ができたときだよ
- 父 じゃあ おまえにとって1番楽しい試合は?
- 息子 自分が活躍して、勝った試合
- 父 2番目は?
- 息子 自分が活躍して、負けた試合。3番目は自分が活躍しないで勝った試合
- 父 勝敗より、自分のプレーか?
- 息子 遊びでやってたんじゃないよ。良いプレーができれば結果はついてくる。
そのために練習したんだ。それで負けたら、相手がそれ以上だったんだよ。
- 父

感動が届いた学習発表会

子ども達の発表は、どの学年も大変素晴らしく、鑑賞した皆様に感動を届けられたことと思います。そのような子ども達を支えてくれたのは、子ども達が発表に集中できるように会場の雰囲気を作っていただいた、保護者の皆様のおかげと大変感謝しております。



全国学力・学習状況調査の結果から～算数思考編～

1から9までの数が書かれたカードが1枚ずつあります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

この中から2枚のカードを選んで、次のような2けたのひき算の答えについて考えます。

カードの差が1の場合

21 - 12 = 9
32 - 23 = 9
43 - 34 = 9
54 - 45 = 9
65 - 56 = 9
76 - 67 = 9
87 - 78 = 9
98 - 89 = 9

カードの差が2の場合

31 - 13 = 18
42 - 24 = 18
53 - 35 = 18
64 - 46 = 18
75 - 57 = 18
86 - 68 = 18
97 - 79 = 18

カードの差が3の場合

41 - 14 = 27
52 - 25 = 27
63 - 36 = 27
74 - 47 = 27
85 - 58 = 27
96 - 69 = 27

左のような数量の関係から、きまりを見つけて、それを式と言葉で説明する問題については、全国平均を超えていました。

正答は、「カードの差に9をかけると、2けたのひき算の答えになります。」のようになります。

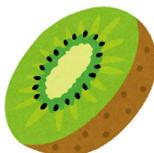
このような、問題を解けるようになるには、日常から、「きまりを見いだす楽しさを実感できる」ような算数の授業を行う必要があります。真龍小学校では、子ども達、一人一人に自分の考えをもたせて、その考えを基に、話し合いを通して学びを深める授業を日常から行っています。左の問題であれば、話し合う活動の際に、「答えは9の倍数である」などの説明をした場合に、その説明をきっかけとして子どものさらなる答えを引き出しながら、「カードの差」と「2けたのひき算の答え」の関係について見いだす活動へとつなげるような授業展開です。

真龍おはなし隊からの11月のおすすめ本紹介

今月の『お話し隊おすすめ本』は、「ひみつシリーズ」です。学校の図書室にもこれまで、「薬剤師のひみつ」「下水道のひみつ」など、さまざまなひみつが書かれた本が置かれています。その中でも今回は、「キウイフルーツのひみつ」を紹介します。

みなさんは、お店で売っているキウイフルーツが、どのようにお店まで運ばれてくるか、どこの国のものか知っていますか？多くはニュージーランド産という海外のものが、日本に飛行機で運ばれ、みなさんのもとに届きます。しかし、日本にもキウイフルーツが実る県があります。それはいったいどこなのでしょう・・・

・キウイフルーツには栄養素もたっぷりです。ぜひ読んでみてくださいね！



お話し隊担当 鈴木（千）先生 高野先生

こころがあたたまったできごと

10月のある朝、職員室の窓から光栄線のバスを降りてくる児童の様子を見ていました。はじめに、低学年の児童が降りてきて、最後に高学年の児童が降りてきました。次の日も、また次の日も同じように降りてきました。体の小さい低学年の児童を先に降ろすという、高学年の児童の心遣いに、心があたたまりました。真龍の児童には当たり前前の行動なのかもしれませんが、このような日常の積み重ねが、後輩たちに受け継がれていることが実感できた場面を見ることができました。

冬の交通安全運動

11月11日～20日までの10日間、全道一斉に行われます。登校時の街頭指導も、交通安全指導員の方や交通安全協会の方などが期間中、行ってくれます。